

いま話題の「eスポーツ」ってどんなもの？

いま話題の「eスポーツ」に興味を持っている人も多いのでは!? ということで、その業界がどうなっているのか徹底調査!



電子ゲームの競技

eスポーツとは、家庭用ゲーム機やスマートフォン、パソコンなどでプレイするゲームを使った競技のことです。1対1もしくはチーム同士で対戦を行い勝敗を決めます。他のスポーツ同様の駆け引きがあり、性別や年齢など関係なく同じ土俵で楽しめるのも特徴です。



視聴者数も賞金額もケタ違い!

2019年に開催された「リーグ・オブ・レジェンド」世界大会決勝戦の平均視聴者数は2180万人、最大同時視聴者数は4400万人を記録しました。このときの優勝賞金は約222万ドル(日本円で約2億4000万円)でした。(※5)

「リーグ・オブ・レジェンド」の競技人口は1億人いる!?

サッカーの競技人口は2億6000万人、野球・ソフトボールは6500万人と言われていますが、eスポーツの「リーグ・オブ・レジェンド」は1億人。テニス以上の人口です。



※1: World Baseball Softball Confederation (WBSC) 調査によるデータ

※3: 1ヶ月のアクティブユーザー数(総務省発行「eスポーツ産業に関する調査研究」より)

※5: 「リーグ・オブ・レジェンド」を開発・販売しているライアットゲームズ社による発表

※2: International Tennis Federation (国際テニス連盟)の調査によるデータ

※4: Fédération Internationale de Football Association (FIFA)調査によるデータ

eスポーツの楽しみ方



観戦して楽しい!



ほかのスポーツ観戦同様、eスポーツは観ても楽しい。プロのテクニックに思わずため息。その試合に挑む姿は本当にかっこいい!

参加して楽しい!

大会に参加すればさらに楽しい。初心者向け大会もあるし、憧れの選手に会えるチャンスも!



2019年の茨城国体では、文化プログラムとして全国都道府県対抗eスポーツ選手権が行われた。



国体文化プログラムでeスポーツ!

eスポーツにもいろんなジャンルあり!

他のスポーツ同様に、eスポーツにもいろんな競技(ゲーム、ジャンル)があります。ゲームが大好きなキミなら、その実力を発揮できるものがあるかも? チャレンジしてみよう。



ほか、レースやパズルも!



プロeスポーツ選手からひとこと!

ゲームのやりすぎに注意しよう!
勉強や友だちも大切に!

eスポーツに関わるお仕事

プロeスポーツ選手 Professional Gamer

実力があればプロeスポーツ選手になれるチャンスも。企業と契約、チームに所属など、ほかのスポーツとほぼ同じ仕組みです。

キャスター Game Caster

大会を配信・放送するときに必要な実況や解説を行うお仕事です。アナウンス能力とゲームの知識が必要となります。

ゲーム開発 Game Development

ゲーム会社でeスポーツ対応ゲームを作る、というお仕事もあります。競技性が高いゲームを作って、世界中で遊んでもらおう!

大会運営 Management Staff

配信技術や選手管理など、大会運営の裏側ではいろんな人が動いています。eスポーツ大会運営専門の会社もあります。

メディア eSports Media

eスポーツの雑誌やWebメディアなどに関わるお仕事です。主な仕事内容は、記者会見の取材や選手インタビューなど。

周辺機器 Development of peripherals

競技シーンではコントローラーなどの周辺機器にこだわる人が大勢います。そんな周辺機器開発に関わる仕事です。